

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年2月20日			
わくわく子供ひろば 須賀川(児童発達支援事業所)					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・スロープや手すりを使用する児童がいません。室内の物の配置や整理整頓、視覚的支援等を取り入れ特性に合わせた支援を行っています。	・利用児童の特性に合わせ今後も対応を行っていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・児童の受け入れ前に、トイレ掃除・室内の掃除、また消毒を行い整理整頓に勤めています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・個別の部屋を使う際は、必ず職員が1名付き安全な環境の中で過ごせるよう対応を行っています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・業務チェックリストを取り入れて業務終了後振り返りを行っています。毎月の目標を立て、達成に向けて取り組んでいます。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者様向け評価表の他に災害時避難訓練の際避難場所と取り組みの周知とアンケートを実施しています。	・より良い支援のために保護者様へアンケートを実施し安心して利用できる環境を整えて参ります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎月ミーティングを行い、職員の声を事業所や各店舗、会社全体で話し業務改善に繋げています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		・都度第三者から事業所の評価をしていただきより良い支援のために改善を行っています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・毎月研修・外部講師の研修に参加し、また職員間でも研修を行っています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・店舗内での掲示、ブログ・インスタ等での公表も行っています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・職員との支援会議を行い、また児童や保護者様のニーズを共有した上で分析し計画書を作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・支援会議等で児童の様子(支援への変化・課題・成長)を職員と支援ごとに振り返っています。共通理解は図れています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・専門職員、児童指導員、保育士、児発管で支援会議を行い、スモールステップで児童が無理のない目標のもとに成功体験をたくさん積み自己肯定感を高められるよう職員間で共有し支援を行っています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		・児童発達支援センターへ児童の対応等の助言をいただき支援に活かしています。	・今後もより良い支援が行えるよう連携を図っていきます。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		・児童や保護者様の意向を聞き交流を行う機会が必要と感じた場合は対応を行います。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・連絡帳でのやり取りもありますが、状況によっては電話連絡を取り合い共通理解を図っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		・保護者様へ家族支援としてご相談や面談の際にお伝えしていますが、ペアレントトレーニングとして取り入れたことはなかったため今後導入を視野に入れ対応をしていきたいと思えます。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			・保護者会という名前ではありませんが、年一回保護者様も参加での運動会を行っております。子供たちの成長と一緒に喜び保護者様同士や職員との交流会のような形で開催しています。新たに保護者会を開催することも視野に入れながら考えていきたいと思っております。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		・市役所で実施している手話講座や警察の方へ依頼し情報モラル教室などを行っています。お買い物訓練でも地元のお店で地域の方と交流をしています。	・地域の方との交流を今後も継続してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・5月と11月に避難訓練を行い、勉強会を開催しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・アレルギーのあるお子様は利用時や都度保護者様へ確認し医師からの指示を聞き対応をしています。	・今後も職員間で共有を行い、正しい対応を行って参ります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・虐待防止の研修を実施しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年2月20日			
わくわく子供ひろば 須賀川 (放課後等デイサービス)					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3 わくわく子供ひろば 須賀川 (放課後等デイサービス)	6		・スロープや手すりを使用する児童がいません。室内の物の配置や整理整頓、視覚的支援等を取り入れ特性に合わせた支援を行っています。	・利用児童の特性に合わせて今後も対応を行っていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・児童の受け入れ前に、トイレ掃除・室内の掃除、また消毒を行い整理整頓に動いています。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・個別の部屋を使う際は、必ず職員が1名付き安全な環境の中で過ごせるよう対応を行っています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	6		・業務チェックリストを取り入れて業務終了後振り返りを行っています。毎月の目標を立て、達成に向けて取り組んでいます。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者様向け評価表の他に災害時避難訓練の際避難場所と取り組みの周知とアンケートを実施しています。	・より良い支援のために保護者様へアンケートを実施し安心して利用できる環境を整えて参ります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎月ミーティングを行い、職員の声を事業所や各店舗、会社全体で話し業務改善に繋げています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		・都度第三者から事業所の評価をしていただきより良い支援のために改善を行っています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・毎月研修・外部講師の研修に参加し、また職員間でも研修を行っています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・店舗内での掲示、ブログ・インスタ等での公表も行っていきます。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・職員との支援会議を行い、また児童や保護者様のニーズを共有した上で分析し計画書を作成しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・支援会議等で児童の様子 (支援への変化・課題・成長) を職員と支援ごとに振り返っています。共通理解は図れています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・専門職員、児童指導員、保育士、児童発達支援会議を行い、スモールステップで児童が無理のない目標のもとに成功体験をたくさん積み自己肯定感を高められるよう	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	6			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6			・児童や保護者様の意向を聞き交流を行う機会が必要と感じた場合は対応を行います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		自立支援協議会での研修や事例検討会等に参加しています。事業所部会の副部門長に任命されました。	今後も、研修や事例検討会等に参加し知識をつけ支援に活かしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			・保護者様へ家族支援としてご相談や面談の際にお伝えしていますが、ペアレント・トレーニングとして取り入れたことはなかったので今後導入を視野に入れ対応をしていきたいと思っています。
保護者への説	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			・保護者会という名前ではありませんが、年一回保護者様も参加での運動会を行っております。子供たちの成長を一緒に喜び保護者様同士や職員との交流会のような形で開催しています。新たに保護者会を開催することも視野に入れながら考えていきたいと思っています。

明 等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	・市役所で実施している手話講座や警察の方へ依頼し情報モラル教室などを行っています。お買い物訓練でも地元のお店で地域の方と交流をしています。	・地域の方との交流を今後も継続してまいります。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	・5月と11月に避難訓練を行い、勉強会を開催しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	・アレルギーのあるお子様は利用時や都度保護者様へ確認し医師からの指示を聞き対応をしています	・今後も職員間で共有を行い、正しい対応を行って参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	・虐待防止の研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			